令和4年度 第3回堺市東区政策会議 議事要旨

- 開催日時 令和5年3月20日(月) 午後1時30分～午後2時45分
- 開催場所 東区役所 2階203会議室
- 出席構成員 池崎守、金牧かおり、川上浩、北井道子、小西貢、坂井茂子、鈴木義規、
高落俊次、高木悠里、辻有理、西野巳佐夫、福田崇子、正木幸彦、森田法子、
山本淳一、渡士晶子(以上16名)
- 事務局職員 東区役所 山下区長、辻林副区長、小川自治推進課長
企画総務課 山元課長、武田課長補佐、中部企画係長、井上副主査、酒井
- 案 件 1 開会
2 議題
(1) 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承について(取組報告)
(2) 次期区政策会議について
(3) その他
3 閉会
- 配付資料 資料1 令和4年度第3回堺市東区政策会議 座席表
資料2 堺市東区政策会議 取組報告(第1期)(案)
資料3 「東区かるた」読み札・絵札案

【会議内容概要】

1 開会

大阪公立大学大学院講師 高木悠里氏が出席していること、また3名の欠席を報告。

2 議題

(1) 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承について(取組報告)

- ① 事務局から、資料2に基づいて取組報告案を説明した。

【各構成員発言要旨】

- 2年近くを費やして初めて取り組んだ事業(文活、歴活)だったが、住民の方々からも評価していただいたので今後も続けていけばよいと思う。実施に伴う課題も踏まえて進めていきたい。
- これまで東区では自治連合協議会との整合性を図りながら進めてきた経緯があるが、このことも踏まえてご意見はどうか。
- 担当していない「歴活」の報告を拝見し、一住民としても大いに興味を持ったので更なる発展を期待する。
- これからどうなるのかなと思いながら事業を着手したが、今振り返ると成果が出たと思う。この成果を校区に落とし込みたいと思う。

- この会議体の成果を地域に浸透させる難しさは認識している。広報戦略が今後の課題と思う。
- ツアーや絵画の事業については、応募数が多すぎることを懸念していたが、想定より応募数が少ないと感じた。広報紙等での周知には課題があると思ったので、周知方法の検討が今後必要。
- 事業が地域でなじんでいくのに5年、根付いていくには10年はかかる。中心のメンバーは同じメンバーで続いていかないと萎んでいくので、継続できるかがポイント。
- 歴史の継承について、上の世代の人は歴史が忘れ去られることを心配している。今の若者、子どもたちには分からないことで、10年20年経ってはじめて残してくれたことに感謝することとなる。今子どもたちに教え、知ってもらい、愛着を持ってもらうことは必要な視点だが、実施してもすぐには成果が見えない、ハードルが高いことを踏まえながらも継続していくことが必要。
- 我々の世代が今残していくべきことをしっかり残していくことが新しい文化の創造につながる。
- 東区のビジョンの中に、西高野街道や伊勢道、文化村などが記されているので、今後も検討を重ねて活動を広げていけばと思う。
- 「親子で育むわがまちツアー」事業については、参加人数も想定範囲内であったのでツアー形式で実施できたが、次回実施の際にもっと参加人数を増やすとするなら、ポイントごとに解説ガイドを配置して案内するとかクイズ形式をとるとかの方法が必要。そのスポットで専任する子どもたちを育てるのもいいと思う。
- そうすると、担当する子どもたちも将来街に誇りを持つようになると思う。
- かるた事業についての評価は我々がするのではなく、5年後10年後に残っているか、またそれまでにどう使ってきたかが評価になる。大会を開催するなどの機会を積み上げればよいと思う。
- 色々のご意見をいただいたが、事務局からの取組報告案について他にご意見はないか。

【全員了承】

- ② 次に、東区かるた事業について、事務局から資料3に基づき作業進捗報告をした。なお、絵札については写真提供の交渉中であるなど一部調整中の図柄があり、本会議での意見を踏まえ、読み札・絵札の最終版を提案する予定であることを説明。また、次年度の作業スケジュールとしてデザイン支援及び制作の業者選定と納品されたかるたの配付について説明した。

【各構成員発言要旨】

- 読み句の中で気になる句があり、絵札も変更してはどうかと思うが、今ここで議論はできないとも思うので、再度皆さんでチェックしていただくことはできないか。
- （事務局（以下「(事)」と記す。)) ご提案いただいて変更することは可能である。
- 提案期限についてはどうか。
- (事) かるたの納品時期が後ろにずれることにはなるが、皆さんのご意見をしっかり反映したいと考えているので次月ではいかがか。
- 構成員全体でしっかり確認して反映したい。提案を踏まえて再度会議をもってはいかがか。

- 次期構成員の方の交代が予定されていれば、引継ぎしていただければよいと思う。
- 所属の校区に関するかるたを重点に確認、提案していきたい。
- 読み句修正の提案については、頭の読みの字だけは変えないようにしたい。
- 題材として応募者の了解を得られるのであれば、大胆に変更してよいと思う。
- 地域の貴重な歴史や文化が、限られた読み札に全て採用できないのは課題。
- 採用したい題材がかるたにできない場合、資料冊子として取りまとめてもよいのではと思う。
- QRコードで資料としてもよいのではないか。
- 意見集約してかるたの形にできた段階で、再度の会議を開催することでどうか。
- 区のホームページで作成裏話的な扱いをしてもよいのではないか。
- 4月15日を提案締切とし、かるたの形にして会議にお示しする。

【全員了承】

(2) 次期区政策会議について

事務局から、第2期が6月から令和7年5月までの2年間となることを報告。また6月以降に第1回会議を開催したいこと、テーマを第1期に引き続き歴史・文化としたいことを提案。

【各構成員発言要旨】

- 東区の政策は、住民と区役所が一体となって進めていると認識している。
- 歴活に所属しているが、ツアーに参加して初めて知ったことが多かった。貴重な体験をしたと思っており、周りの住民の方に伝えることができるので引き続き進めていければと思う。
- かるた作成作業のご苦勞を感謝するが、できて終わりではなく今後、校区や区民まつりなどで大会を開催し、実績を重ねることが作業の苦勞に報いることになる。次期の活動に期待する。
- 絵画展示事業については、展示作業中に通行者の「電車来るけどもう少し鑑賞しよう。」との声を聞いたり、歩みを止めて鑑賞する方がおられたりしていたので成果があったと思う。絵画が撤去された後の寂しさも感じたのでぜひとも継続してほしい。
- 絵画展示事業を進める上での課題も見えたので解決策を講じながら継続してほしい。
- 駅構内に入らないと見られないというのは課題と思う。
- 地域の協力、地域に展示する案の一つとしてスーパーの協力というものもある。
- (事) 今後の次期活動で協議・検討していくこととする。
- 再確認だが、かるたは小学校には配るのか。
- (事) 小学校以外に、皆様や読み句採用者に配付する他、活用いただける団体に配付予定。

【全員了承】

(3) その他 事務連絡、区長あいさつ

3. 閉会